

1. 事業概要

Outline

【1】 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」とは

我が国が世界に先駆けて迎えている人口減少・超高齢化社会において、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」ことが危惧されている。

このような人口減少と地域経済の縮小に歯止めをかけ、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生するためには、意欲と能力のある若者が地域において活躍できる魅力ある就業先や雇用の創出等に国と地方が一体となって取り組んでいかなければならない。

地方を創生する中心となるのは「ひと」であることは言うまでもなく、地方の未来を担う「ひと」を養成する主役は、我が国における知識基盤社会の推進を担ってきた大学や短期大学、高等専門学校であり、これらの高等教育機関が、地域の人材需要を的確に把握し、その地域の課題解決の中心的役割を担う人材を育成することは地域の知の拠点である大学の使命である。

また、地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化、地方への人口集積等の観点から、地方大学が果たすべき役割には、極めて大きな期待が寄せられている。

文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、平成25年度から「地域のための大学」として、各大学の強みを生かしつつ、大学の機能別分化を推進し、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」を発展させ、地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としている。

【2】 オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業

1. 事業概要

弘前大学は平成27年度の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の公募にあたり、県内大学・高専、地方公共団体、企業等との連携による「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」を申請し、採択された。

本事業は、若年者・女性の人口減少克服のため、志・創造力・実行力を柱に「地域で生活し、地域で働き、地域創生に取り組む人財」の育成を進め、学生の地域就職率の向上、雇用創出を実現する。

COC採択校である弘前大学、八戸工業高等専門学校を中核に9大学1高専(県内大学の8割)、青森県・県内主要4市、県内企業・NPO等(計107社)による「オール青森」ネットワークを形成し、大学と地元企業との連携による共育型インターンシップの開発・実施、女子学生のキャリア支援・地元定着、学生の起業支援などに取り組む。

青森県を4つの地域ブロックに分け、担当のコーディネーターを配置し、COC+推進コーディネーターのマネジメントのもと、迅速かつ効果的な事業実施の体制をとる。

また、青森県地方創生戦略にあるアグリ・ライフ・グリーン・ツーリズムの4分野に対応した「雇用創出連携プロジェクト」に各大学等や企業が強みを生かして参画し、新産業・ビジネスを創出する研究を進める。

本事業において地域就職率を平成26年度より10%向上させ、平成31年度にはCOC+大学・参加校全体で48.1%の地域就職率(弘前大学は39.7%)を達成する。

2. 事業協働機関と組織

本事業は、弘前大学をCOC+大学とし、青森県にある8大学1高専(八戸高専はCOC採択校)がCOC+参加校となる。青森県、青森市、弘前市、八戸市、むつ市の5自治体と、優れた技術や強みをもつ107の企業・NPOが事業に参加し、オール青森体制で青森県の活性化と人口減少克服に取り組む。

事業協働機関は、弘前大学長が機構長を務める「青森COC+推進機構」の構成員として協働して事業を推進する。

また、地域志向・定着プログラムの開発を担う「教育プログラム開発委員会」を設置するとともに、COC+推進コーディネーターを置き、事業協働機関の調整を図りながら事業を強力に推進する。

事業協働機関は、地域ごとに作られたブロック事業と、ブロックを横断して作られる雇用創出連携プロジェクトに参加する。ブロック事業では、「教育プログラム開発委員会」が開発するプログラムを、各大学の授業に実装していくほか、学生を地域に定着させていくための事業を連携して行う。雇用創出連携プロジェクトでは、青森県の総合戦略を踏まえたアグリ・ライフ・グリーン(環境・エネルギー)・ツーリズムの4分野において強みを有する事業協働機関が連携し、新産業を創出する研究を推進する。

3. ブロック事業

青森県を、青森市・弘前市・八戸市・むつ市をそれぞれ中心とした4つのブロックに分け、大学・自治体・企業等はそれぞれブロックを核とした事業を展開する。ブロック相互は情報やノウハウを交換するとともに、連携・共同事業などオール青森となるスケール・メリットを生かした事業にも取り組む。

ブロックの役割は、同じ地域に属する参加校・自治体・地元企業・NPOが緊密に連携し、事業を確実に実施することである。

事業を円滑に実施するために、ブロックごとに、ブロックリーダーとなる大学と、ブロック・コーディネーター(BC)を置き、ブロック事業の進捗管理と、事業協働機関相互の連携調整を行う。

また、ブロック会議を開催し、情報の共有を図るとともに、事業内容のチェックを行い、改善策を講じることで、事業を着実に推進する。

具体的には、ブロック事業において、「教育プログラム開発委員会」が開発するプログラムや、各大学等が独自に実施する地域志向科目・起業実行プログラム等を実施する。学生たちが地域企業の魅力や働きがいを見出すため、学生自身の企画による企業合同説明会や会社ツーリズム(企業見学)などのイベント等を実施する。自治体・地域の企業・NPOは、共育型インターンシップの開発・実施に参加し、学生の受け皿となるほか、地域の中小企業で働く若者のネットワーク化を進め、地域企業就業者のキャリアアップを支援していく。

また、学生の創業・起業を支援し、特に工業中心の八戸地域では、参加校である八戸高専・大学を中心に、学生を対象としたイノベーション・ベンチャーコンテストを実施する。

4. 教育プログラム開発

本事業では、設定した人材像・能力を踏まえ、学生の意欲・主体性を引き出し、机上ではなく、実践の「場」で自分の専門知を鍛えるという視点から、学生の主体性と実践性・現場性を重視した取組を強化する。

主に学部3・4年生を対象とした、新たに多様な専門知を持つ学生たちが地域で取り組みたいと

思うプロジェクトを自ら提案し計画・実行する「学生提案型地域プロジェクト学修」科目の新設や、学生の事業協働地域就職率等の向上のために、主に地元の中小企業を対象に大学と企業が連携して企画・実施する「共育型インターンシップ・プログラム」、若年女性の県外流出に歯止めをかける「女子学生のキャリア支援プログラム」、学生の土着ベンチャー、スモール・ビジネスを支援する「起業実行プログラム」を開発する。COC+参加校とで開発・共有・活用する、これらのプログラムは自由度の高い実践プログラムとし、既存の正課科目と連動させ、教育と実践を往還するデュアル・システムを構築する。

また、事業協働機関との連携を生かし、地域人材の情報や斡旋機能を仕組化することで、学生にとって魅力ある地域志向科目の拡充を図る。

5. 雇用創出連携プロジェクト

雇用創出連携プロジェクトの役割は、同じ強みを有する大学等や企業をブロック横断的につなぎ、青森県の特性を生かした研究成果を活用することで、学生の受け皿となる雇用創出を生み出すことである。

これまでCOC+大学・参加校は、青森県の特性を生かしたアグリ・ライフ・グリーン・ツーリズム分野の研究を行ってきた。本プロジェクトにおいては、産学官金のネットワークを強化し、青森県の経済を牽引する新産業の創出を目指す。

事業を円滑に実施するため、それぞれのテーマに強みを持つ大学にプロジェクト・マネージャー(PM)を置き、関係する大学・企業との連携調整を行うとともに、事業の進捗を管理する。ラウンド・テーブル等を通して、新事業創出に向けた研究シーズの活用法などを闊達に議論し、新産業創出を実現する。

まず、アグリ分野においては高い付加価値をもつ農水産物の品種改良やブランド化、新生物資源の探査を進める。ライフ分野においては医工連携による新技術の開発や、看護・福祉関連サービスの創出に取り組む。グリーン分野においては効率的な自然エネルギーの開発に取り組む。ツーリズム分野においては地域資源を生かしたビジネスの創出に取り組む。

地域の企業は、新技術を活用した商品の開発・商品化・販売を目指すとともに、COC+大学・参加校からの学生を積極的に採用する。これを支援するため自治体は、4分野への県内企業の参入促進に取り組み、産業のクラスター形成を進める。さらに商品の高付加価値化と、販路拡大に取り組み、県内企業の海外展開を支援する。

6. 事業目標

項目	平成26年度	平成31年度(目標値)
事業協働地域就職率	38.1%	48.1%
事業協働機関へのインターンシップ参加者数	190人	500人
事業協働機関からの寄付金額	178,160千円	200,000千円
事業協働機関雇用創出数	46人	66人

※平成26年度事業協働機関雇用創出数：事業協働機関において、平成26年度採用者数から平成25年度採用者数を減じた数値

事業名：オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業

青森県の最大課題は「人口減少克服」(全国の縮図！)

- 人口減少数64,000人(H17→H22) 【全国 2位】
- 若年者人口減少数 1,552人 【全国 6位】(H27.3)
- 大学進学率 42.8% 【全国40位】
- 2040年には20～39歳女性人口が半分以下の自治体数は9割近く 【全国 2位】
- 合計特殊出生率 1.40 【全国37位】
- 平均寿命年齢 【全国47位】

※青森県情報、総務省統計局情報、厚生労働省統計、日本創成会議資料等より作成

青森県基本計画 未来を変える挑戦

アグリ(農林水産業)・ライフ(医療・健康・福祉産業)・グリーン(環境・エネルギー産業)ごとに政策・施策を設定し、以下の分野横断的な戦略プロジェクトに取り組む。

1. 人口減少克服プロジェクト

子育て支援、雇用創出・拡大、安全で快適な生活環境、観光・交流人口増

2. 健康長寿県プロジェクト

自然・食・観光の活用、生活習慣の改善、適切な治療、スポーツ

3. 食でとことんプロジェクト

県内産品の多角的な価値創出、食の価値を高める、外貨獲得・域内循環

産学官民協働による地域ブロック展開とブロック横断による広域ネットワーク

高等教育機関 県内四年制大学の約8割 総学生数 約13,000人
 弘前大学／東北女子大学／弘前学院大学／弘前医療福祉大学
 青森中央学院大学／青森県立保健大学／青森中央短期大学
 八戸工業高等専門学校／八戸工業大学／八戸学院大学

自治体 県内人口約6割をカバーする中心都市

青森県／青森市／弘前市／八戸市／むつ市

NPO法人 地域づくり・若年者を巻き込む活動に実績

・プラットフォームあおもり／ぶらっと下北／CROSS(八戸市) 等

企業等 全県的な産金のネットワークと個性ある地元企業

・県工業会・商工会議所・銀行協会/マスコミ/「食」企業他 約100社

弘前大学 (COC+大学) 教育改革

COCの取組(地域志向人財の育成)

- 地域「実践力」を育成する初年次教養教育
- 入学から卒業までの「地域を志向したキャリア教育」
- 「専門知」と「地域の課題」を交差させる「専門力」を育成する専門教育

COC+の取組

- 地域で生活し、地域で働き、地域創生に取り組む人財育成



○地域志向教育の拡充(200科目開講、5科目以上履修)
 →「ローカル科目」群、「グローバル科目」群(必修)/ネット
 ワークによる遠隔授業の実施

○創造力・仲間力を試すPBL

→初年次「地域学ゼミナール」/文理融合による課題解決PBL「学部越境型地域志向科目」「学生提案PBL」

○キャリア教育とインターンシップのデュアル・システム
 →理論と実践によるキャリア支援、全学生(除く教員)が
 インターンシップ等のプログラムを体験

ブロック事業

※各地域ブロックで産官学による就職・起業支援を展開

BC【青森ブロック】★青森中央学院大/青森市等

BC【弘前ブロック】★弘前大/弘前市等

BC【八戸ブロック】★八戸高専(000採択校)/八戸市等

BC【むつブロック】★八戸高専(000採択校)/むつ市等

★弘前大/むつ市等

★北ブロックリーダー校

教育プログラムの開発

・共育型インターンシップ WG主催 青森中央学院大

・女子学生のキャリア支援 WG主催 青森県立保健大

・起業実行プログラム WG主催 八戸学院大

コーディネーター・マネージャー連絡会議

COC+推進コーディネーター

青森COC+推進機構

【機構長】弘前大学長

地元就職率の向上(38.1%→48.1%)・雇用創出

(1) 地元企業に就職したい! 【就活支援ネットワークの構築】

- ① 学生企画による企業調査/会社ツアー/就活説明会等
- ② 地域版共育型インターンシップの開発・実施
- ③ 中小企業の若者ネットワークづくり/就職後のキャリアアップ支援

(2) 自分たちで仕事を始めたい! 【学生の起業支援】

- ① ホップ・ステップ・ジャンプ型起業実行プログラムの開発・実施
- ② 学生の起業アイデアのインキュベーション[孵化](アドバイザーによる起業支援、支援センターの設置)
- ③ イノベーション・ベンチャーコンテストの実施

(3) 大学発新産業・ビジネスで雇用創出! 【雇用創出連携プロジェクト】

- | | | | |
|----|---------|-----------------------|-----------------------|
| PM | 弘前大 | ① アグリ関連産業プロジェクト | 農産物の品種改良とブランド化、6次産業研究 |
| PM | 八戸高専 | ② ライフ(医工連携)関連産業プロジェクト | 医療福祉産業機器・サービスの開発 |
| PM | 八戸工業大 | ③ グリーン関連産業プロジェクト | 効率的な自然エネルギーの開発 |
| PM | 青森中央学院大 | ④ ツーリズム関連産業プロジェクト | 青森版クアオルト(温泉保養地)のビジネス化 |

オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業

青森県COC+推進ネットワーク



雇用創出連携プロジェクト

アグリ PM校【弘前大学】 SubPM校【八戸学院大学】	ライフ PM校【八戸工業高等専門学校】 SubPM校【青森県立保健大学】
グリーン PM校【八戸工業大学】 SubPM校【弘前大学】	ツーリズム PM校【青森中央学院大学】 SubPM校【弘前大学】

※各事業協働機関はそれぞれの強みを生かして各テーマに参画

事業協働機関の役割

大学	<ul style="list-style-type: none"> ○教育プログラムの開発と実践 ○学生起業の支援 ○大学発新産業の創出
地方公共団体	<ul style="list-style-type: none"> ○地域雇用の創出、創業・起業の支援 ○アグリ・ライフ・グリーン・ツーリズム分野への成長政策
企業・NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ○企業の魅力向上と若者への発信 ○学生のインターンシップ、起業支援 ○新商品・ビジネス開発



地(知)の拠点